卒業時アンケート結果（卒業生によるカリキュラム評価）

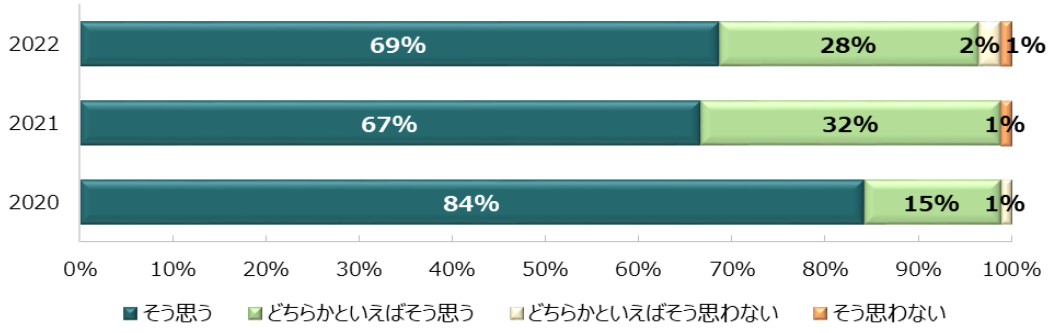
1. 回答率

実施年度	対象者数	回答数（n）	全体回答率	備　考（内訳）
2022年度	124	112	90.3%	学部一般　　86/96 学士3年次編入　26/28
2021年度	125	109	87.2%	学部一般　　84/98 学士3年次編入　25/27
2020年度	127	106	83.5%	学部一般　　82/97 学士3年次編入　24/30

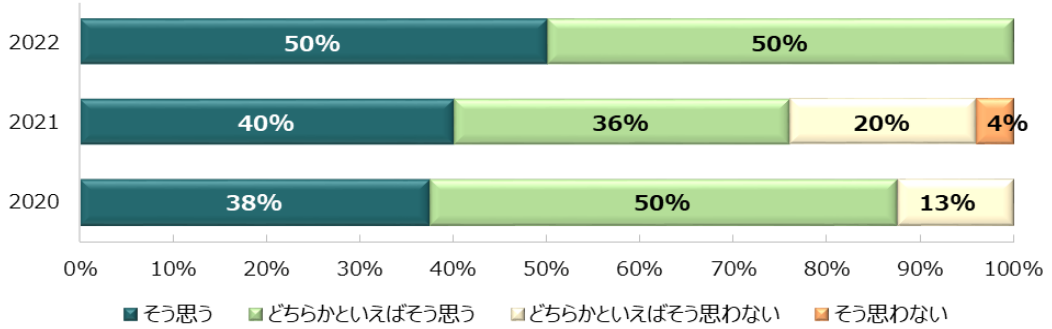
2. 看護学部のカリキュラム全般についてお答えください。

カリキュラム、科目の順序性は適切でしたか？

■学部一般

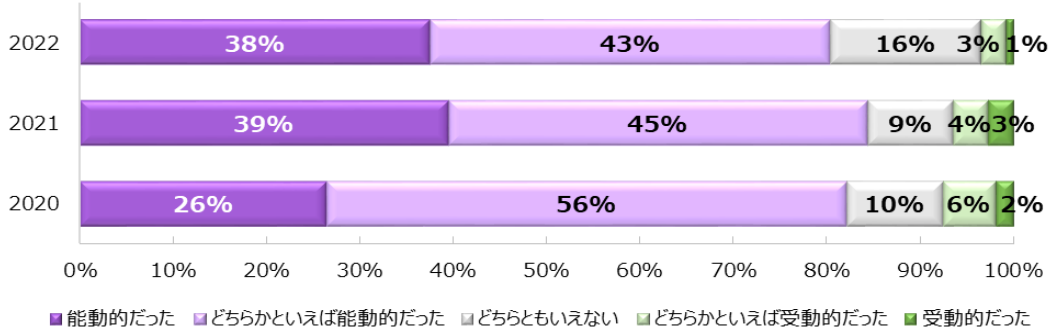


■学士編入学

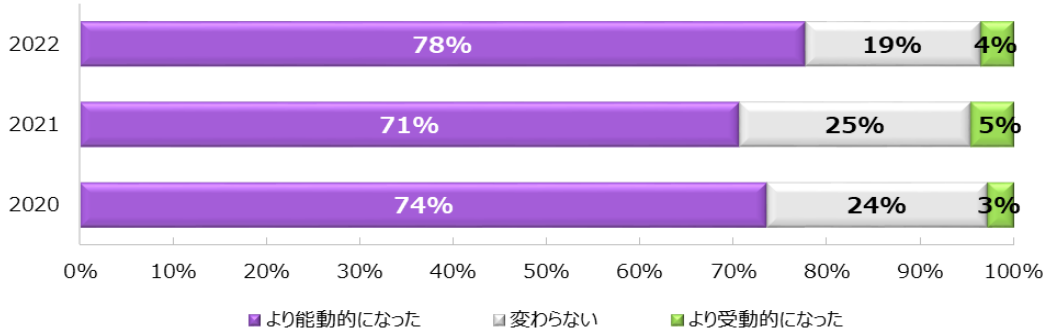


3. 学修の能動性、学習時間の変化等について

4年間／2年間を通して、能動的な姿勢で学習したと思いますか？



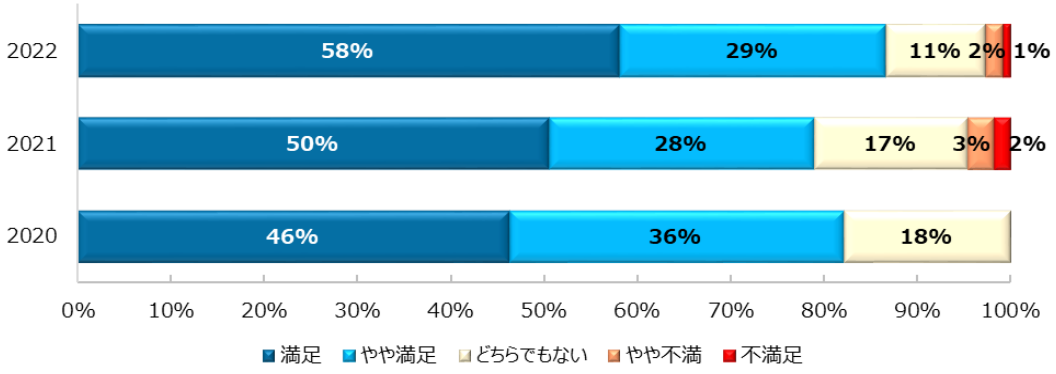
4年間／2年間で学習態度はどのように変化したと思いますか？



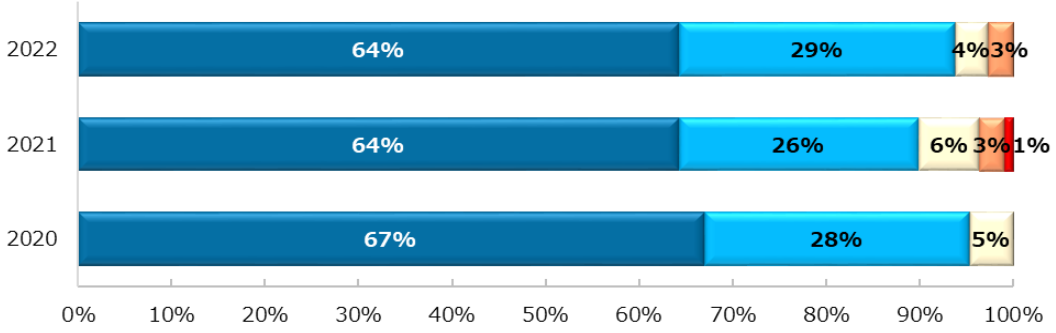
4. 次の内容について、現在のあなたがもつ満足度に最も近いものを選んでください。

1）学習内容について

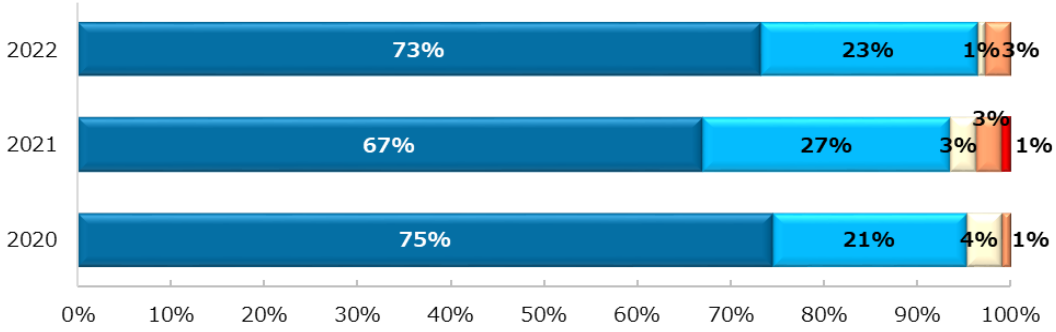
① 教養科目



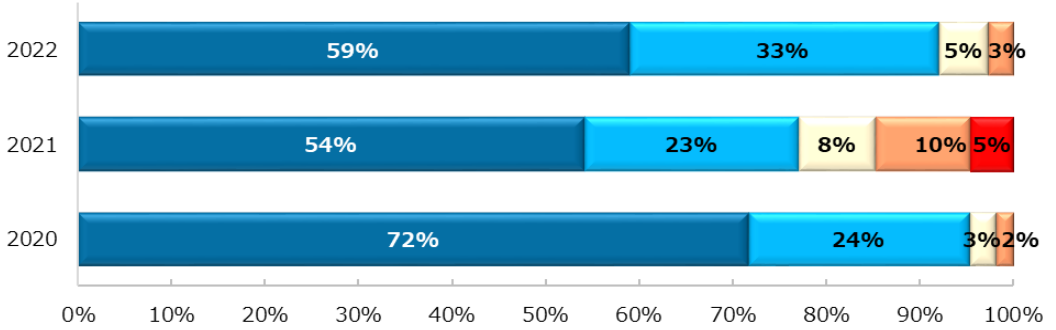
② 基礎科目



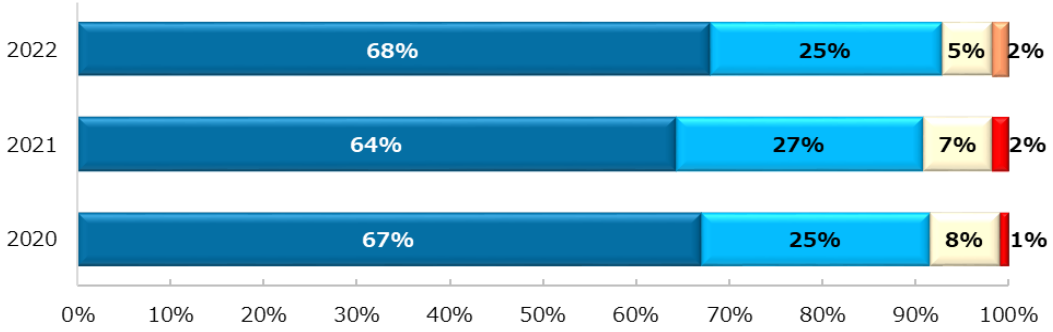
③ 専門科目



④ 実習科目

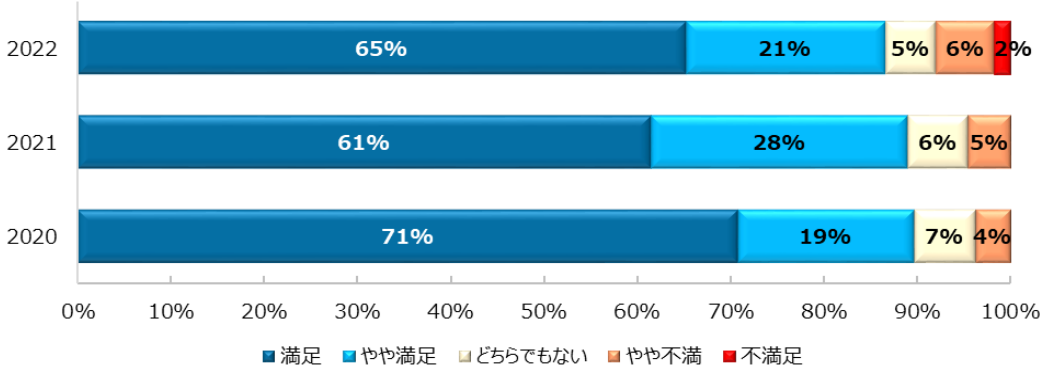


⑤ 卒業研究(総合看護・看護研究Ⅱ)

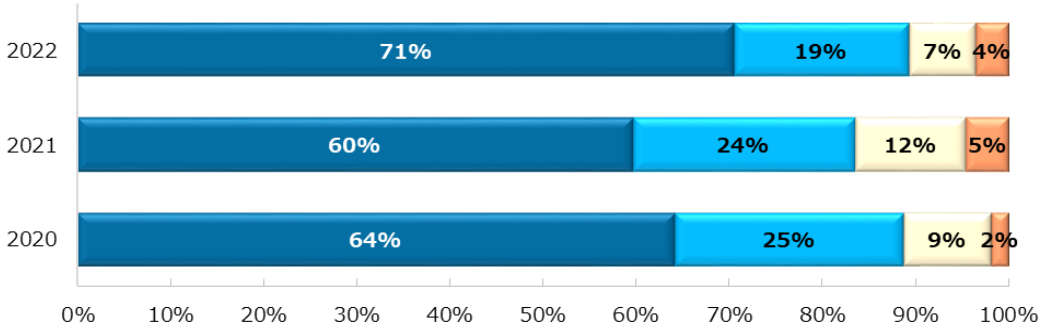


2) 学習環境について

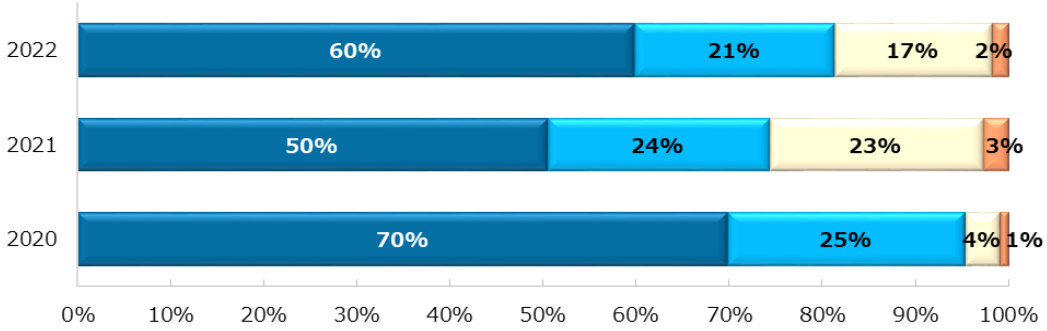
① 図書館



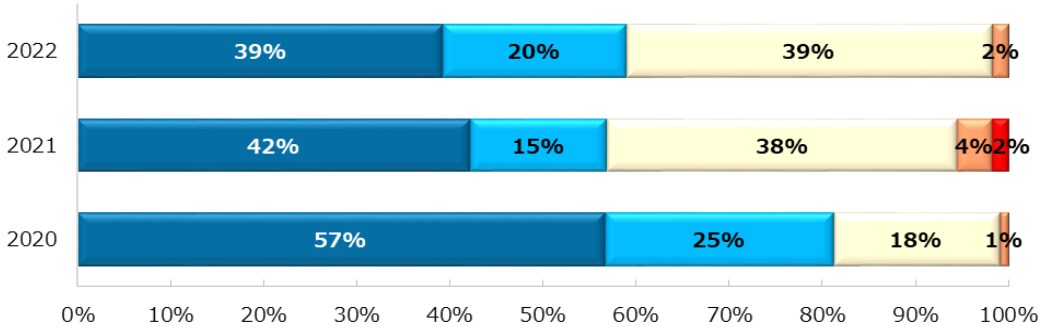
② ラーニングコモンズ



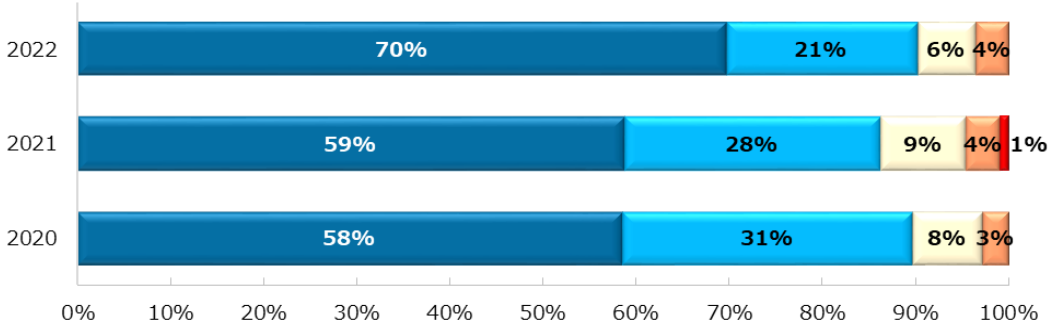
③ コンピュータールーム



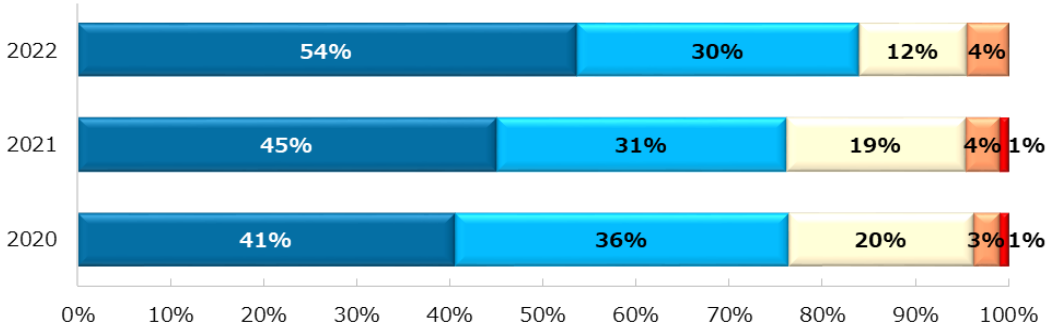
④ メディアルーム



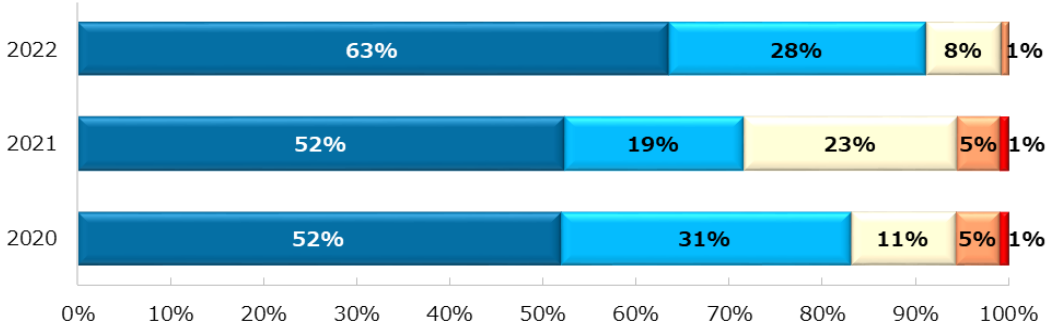
⑤ アーツルーム(B1F)



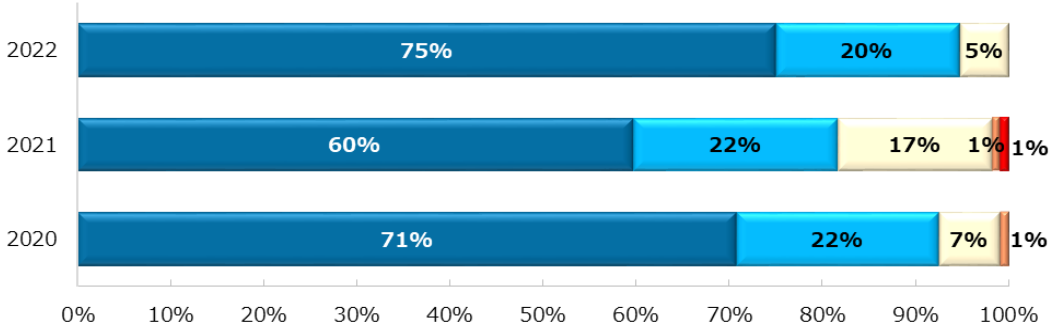
⑥アーツルーム(6F)



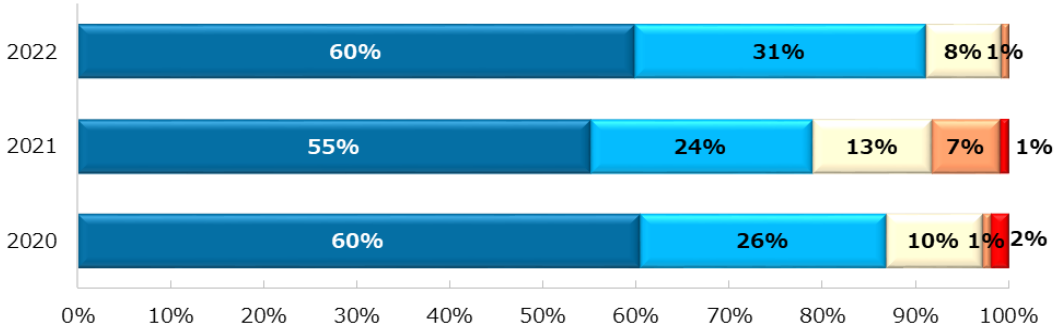
⑦講義室(本館)



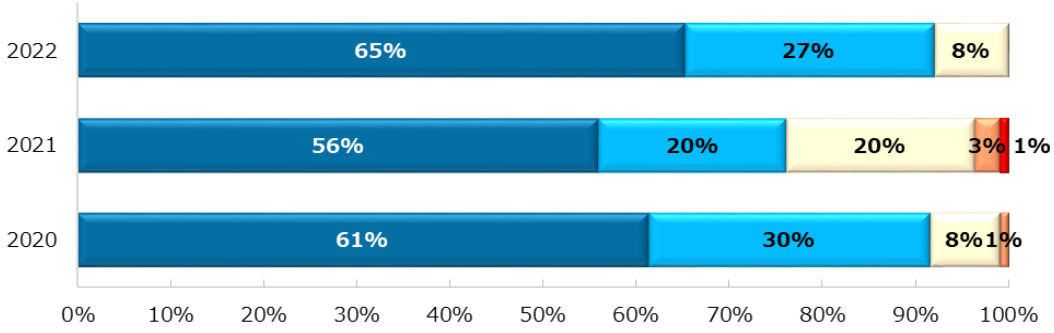
⑧講義室(CCA)



⑨学生ラウンジ(本館2F)

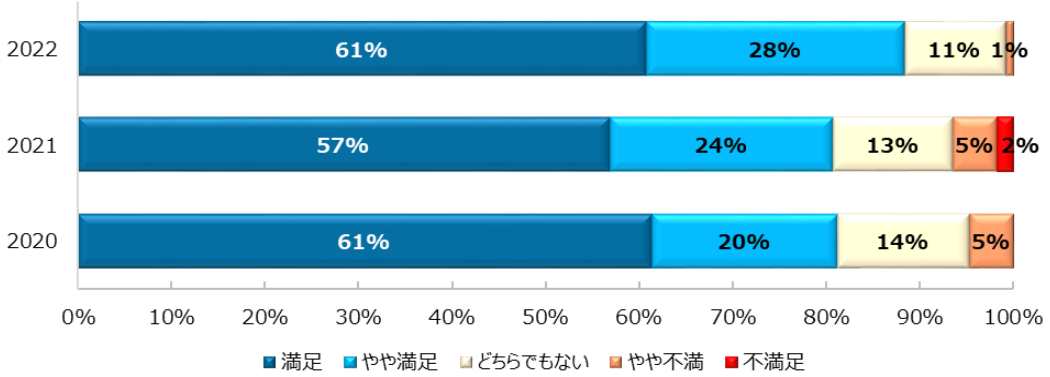


⑩学生ラウンジ(CCA)

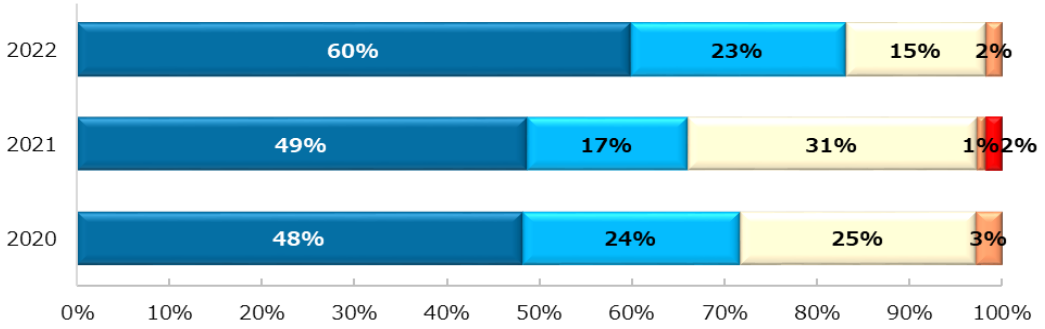


3) 人的支援(サポート体制)について

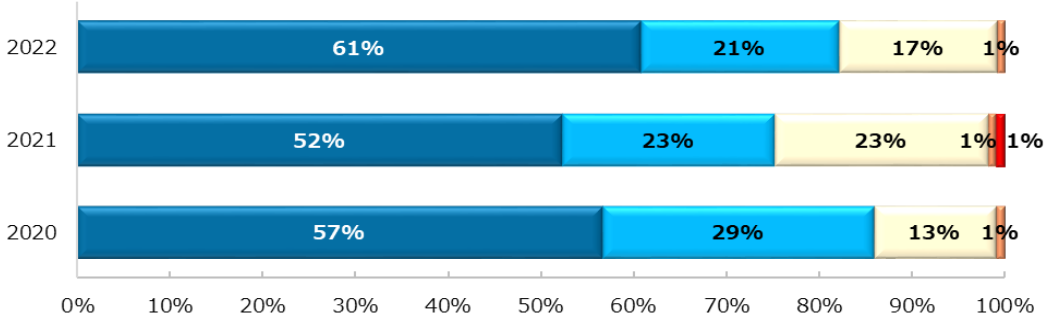
① 図書館



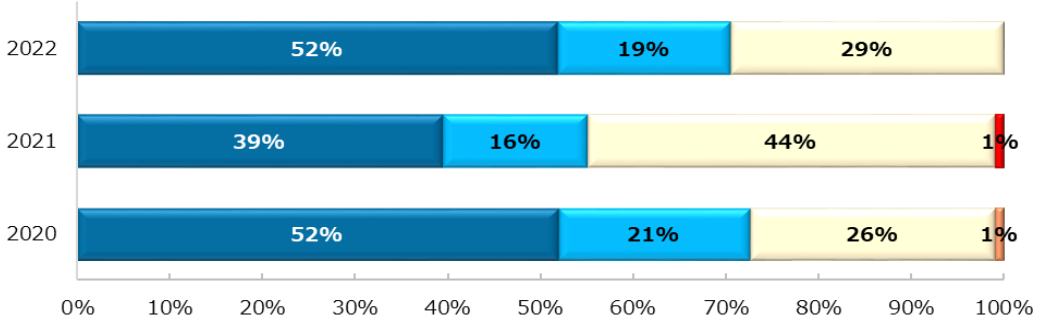
② ラーニングコモンズ



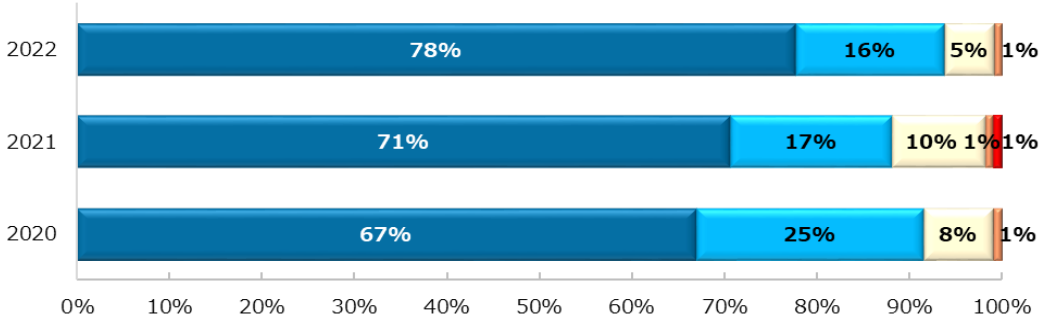
③ コンピュータールーム



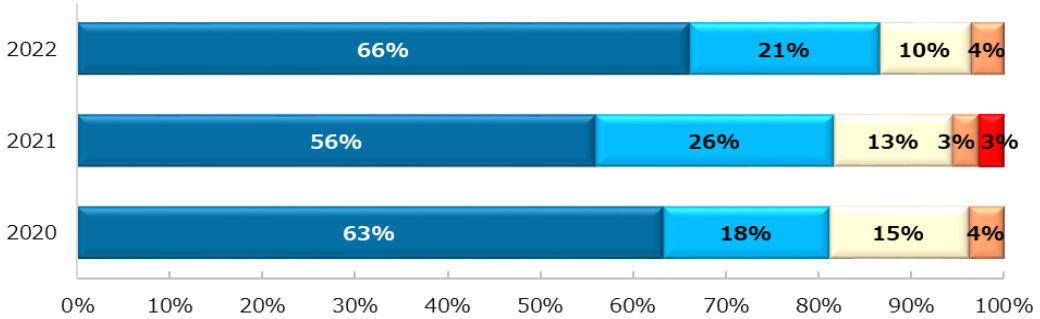
④ メディアルーム



⑤ アーツルーム(B1F)

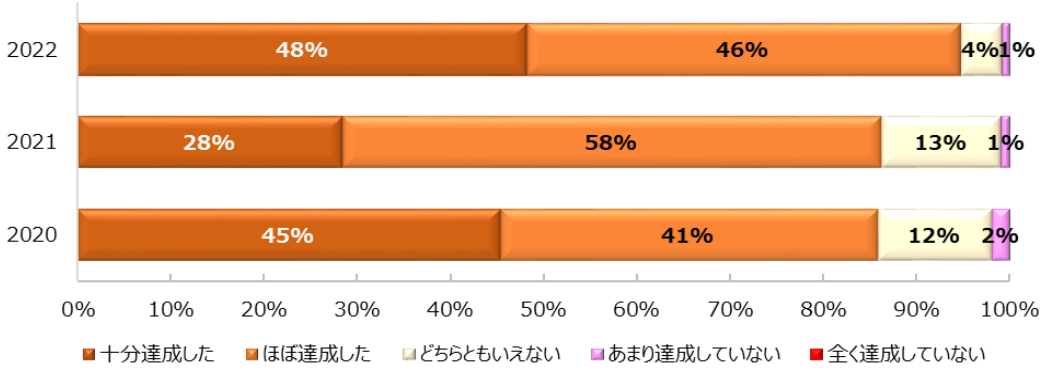


⑥健康管理室

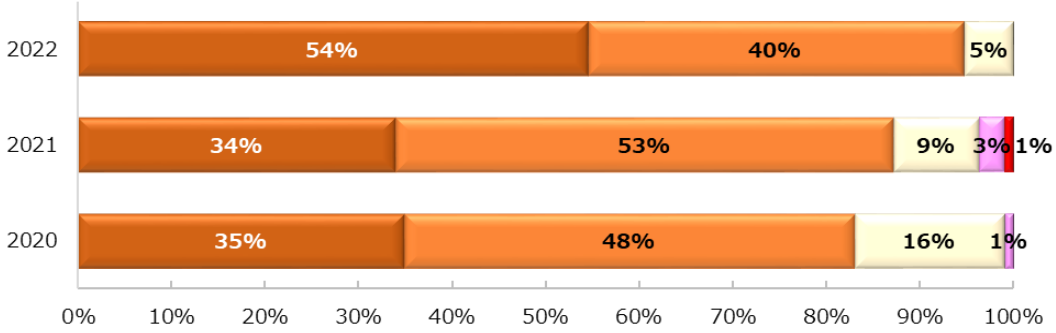


5. 看護学部で育成する人材像（ディプロマポリシー：DP）の達成度調査

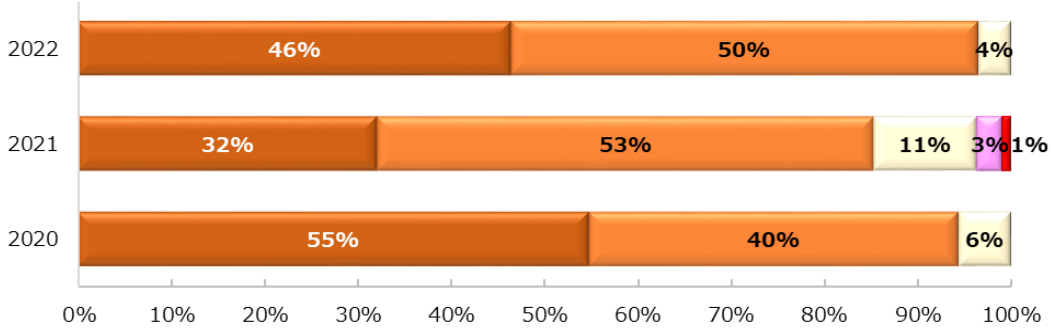
【DP1】キリスト教の愛の精神に基づき、あらゆる対象者を理解し援助関係を形成する能力



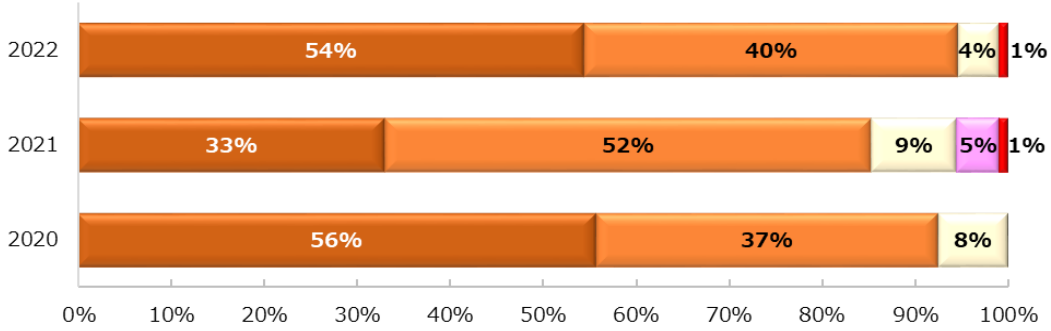
【DP2】保健医療福祉においてリーダーシップを発揮し、協働する能力



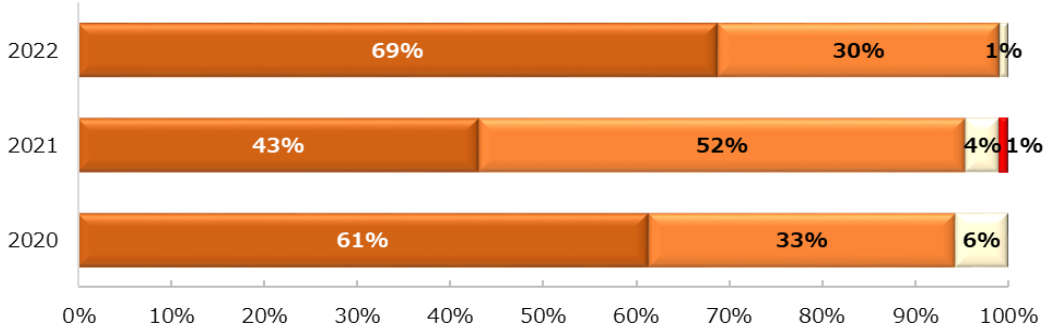
【DP3】物事を深く探究する能力



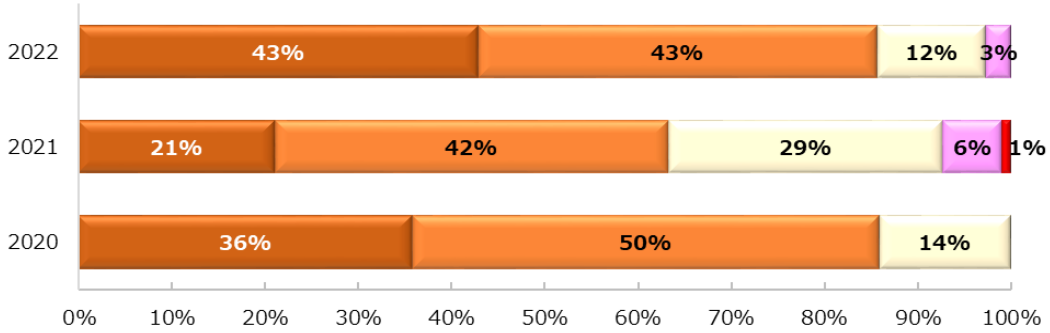
【DP4】根拠に基づきあらゆる対象に最適な看護を実践する能力



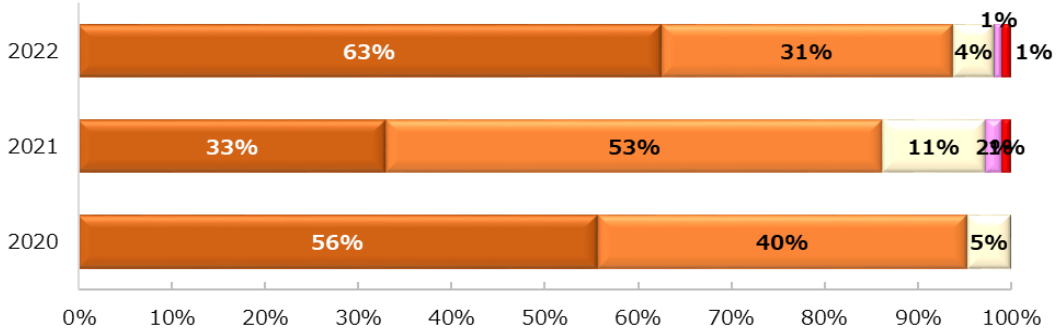
【DP5】専門職として倫理的な態度を身につけ研鑽し続ける能力



【DP6】グローバルな視点を持ち、健康課題を捉える能力



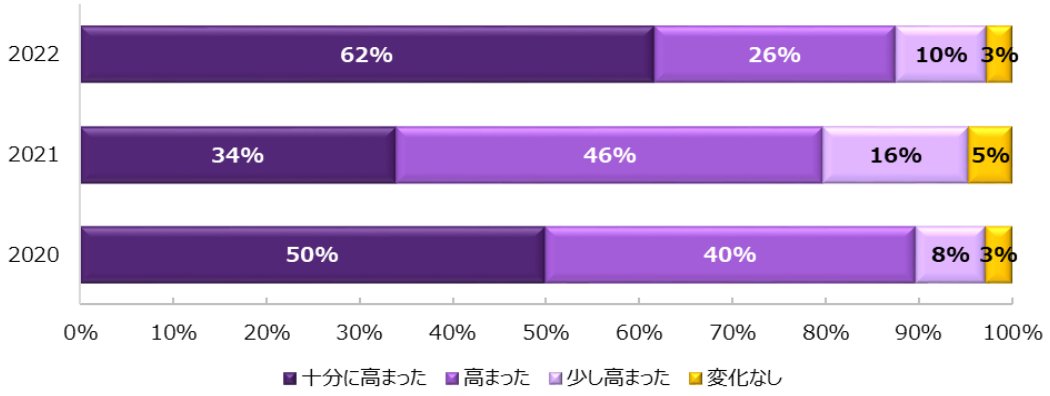
【DP7】看護の対象に最適な看護を提供することを目指し、看護実践の改善に関与する能力



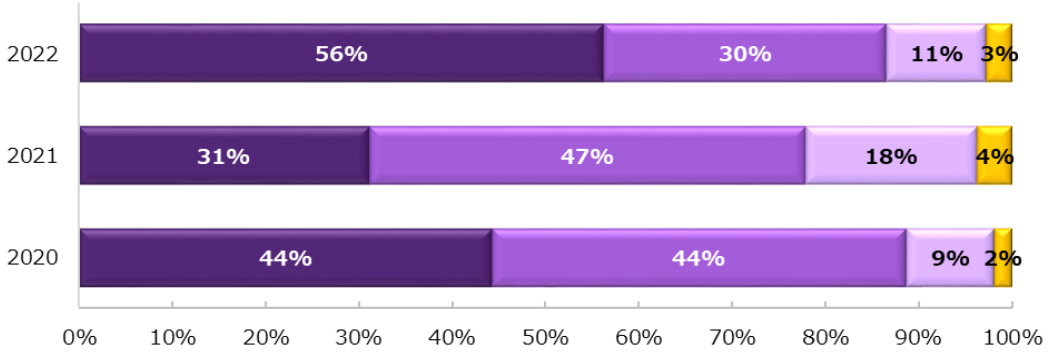
6. 卒業時の学士力に関する調査

Ⅰ群　知識・理解

① 多文化・異文化に関する知識の理解

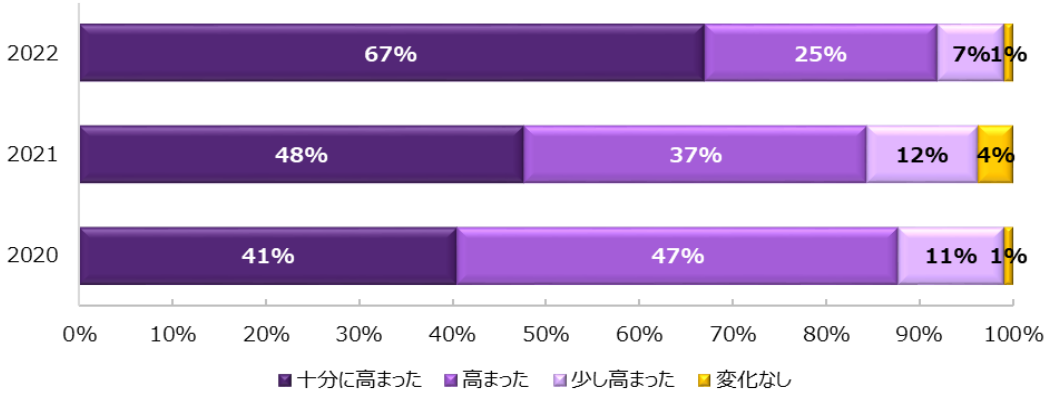


② 人類の文化、社会と自然に関する知識の理解

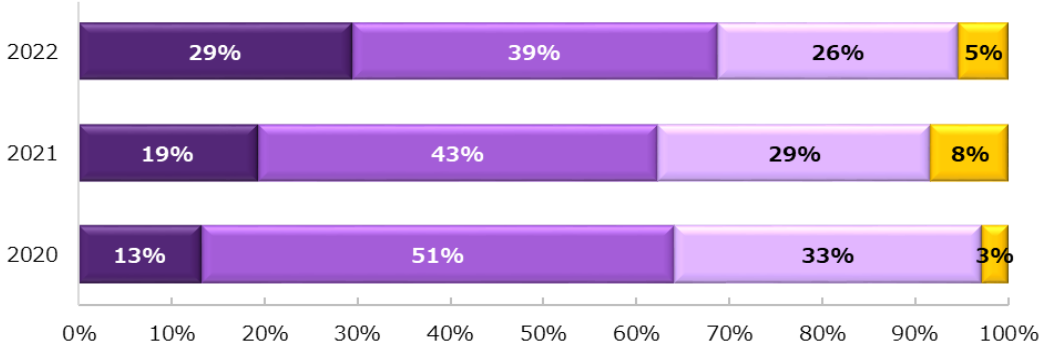


Ⅱ群　汎用的技能

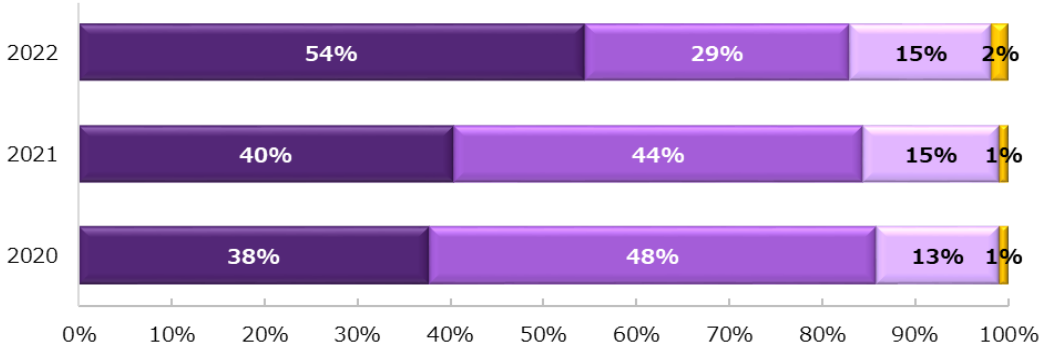
① コミュニケーション・スキル



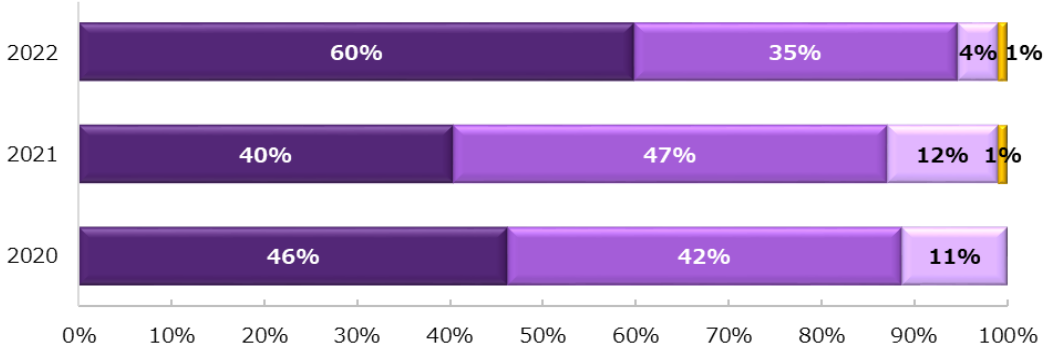
② 数量的スキル



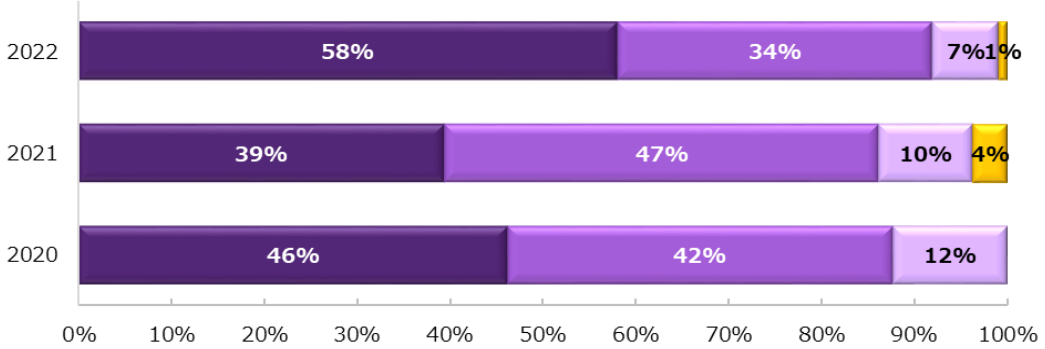
③ 情報リテラシー



④ 論理的思考力

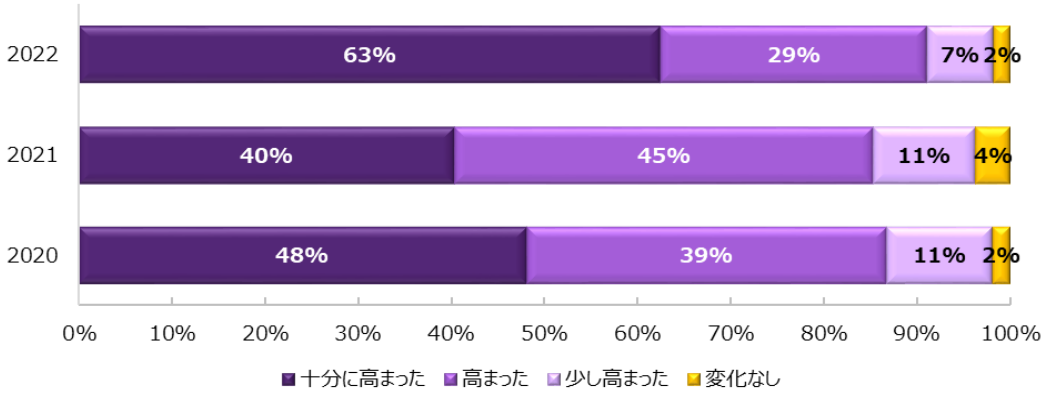


⑤ 問題解決力

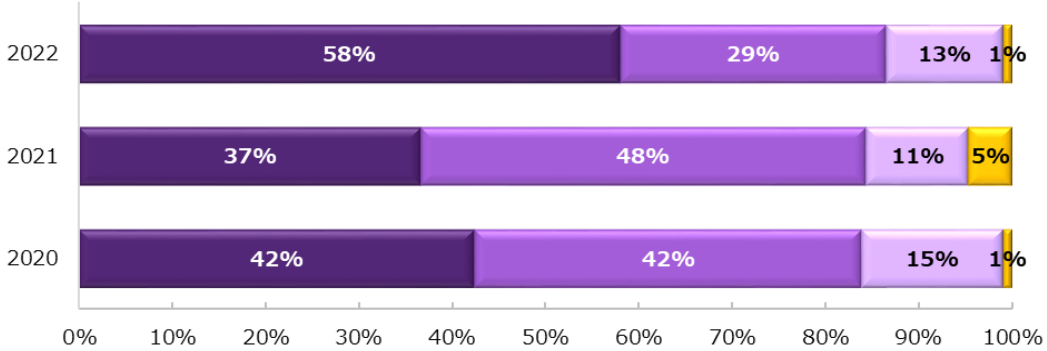


Ⅲ群　態度・志向性

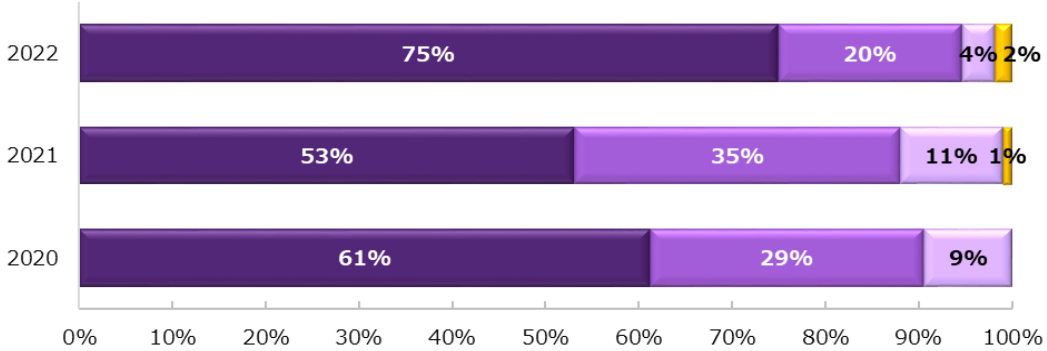
① 自己管理力



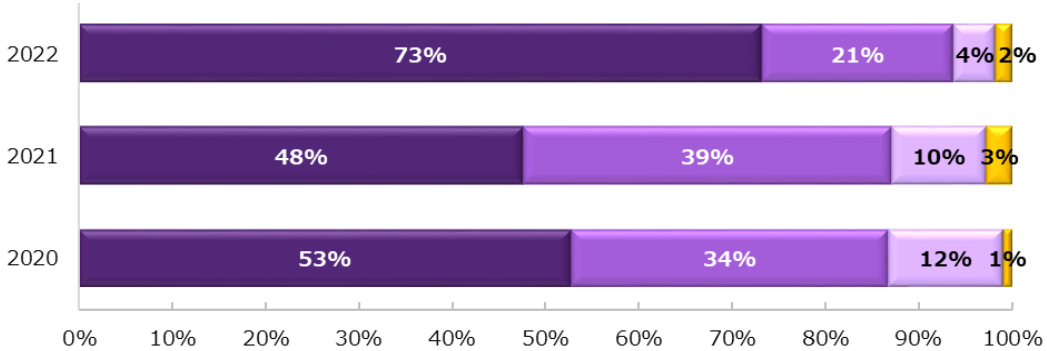
② チームワーク、リーダーシップ



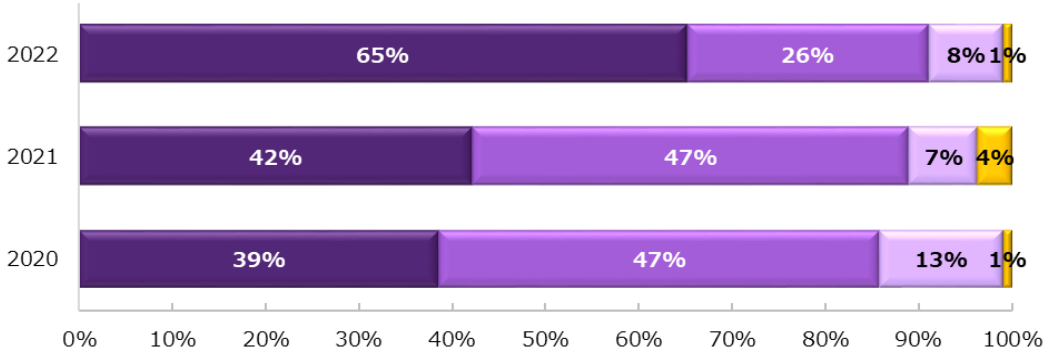
③ 倫理観



④ 生涯学習力



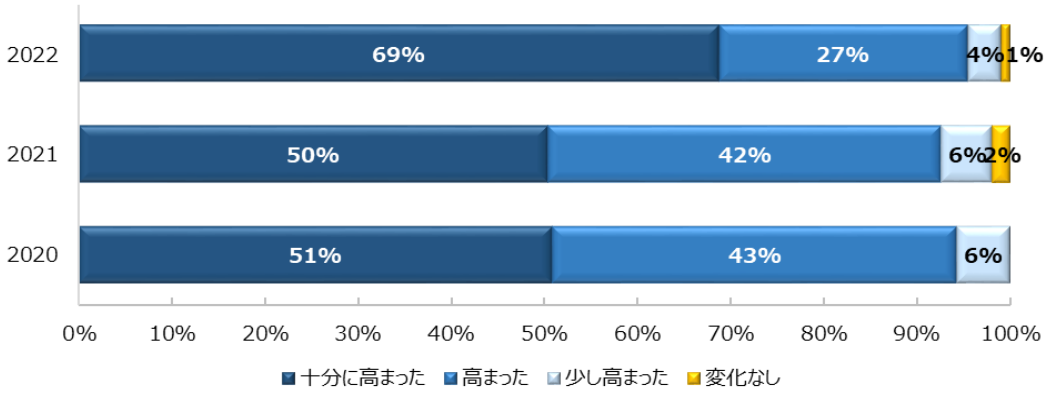
⑤ 市民としての社会的責任



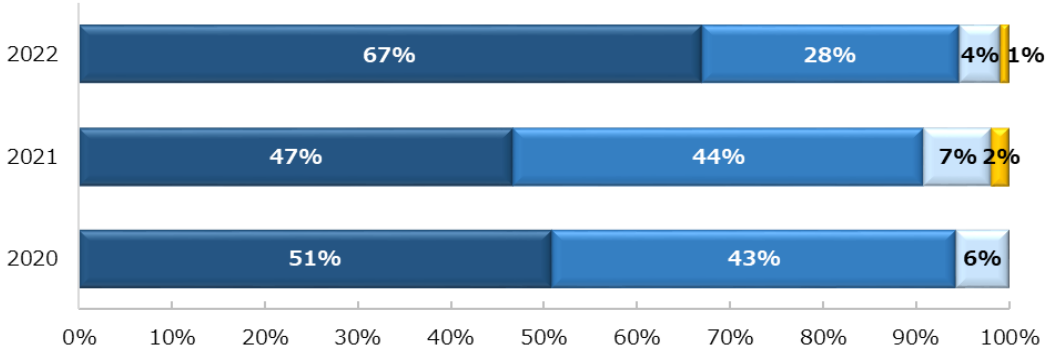
7. 卒業時の実践能力に関する調査

Ⅰ群　対象となる人を全人的に捉える基本能力

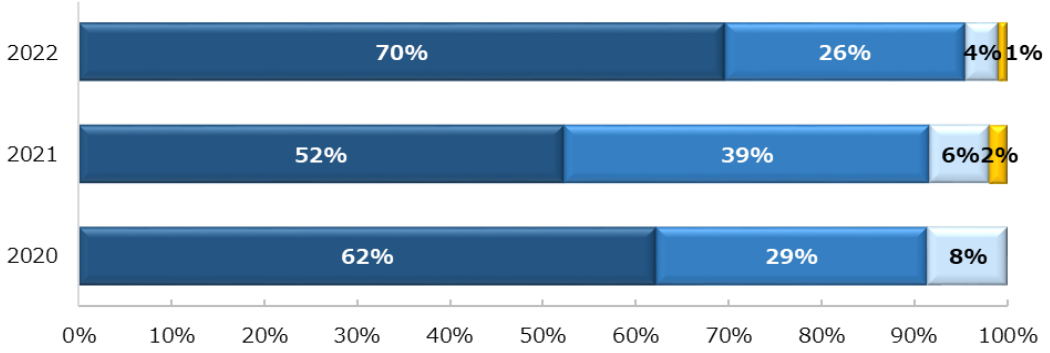
① 看護の対象となる人と健康を包括的に理解する基本能力



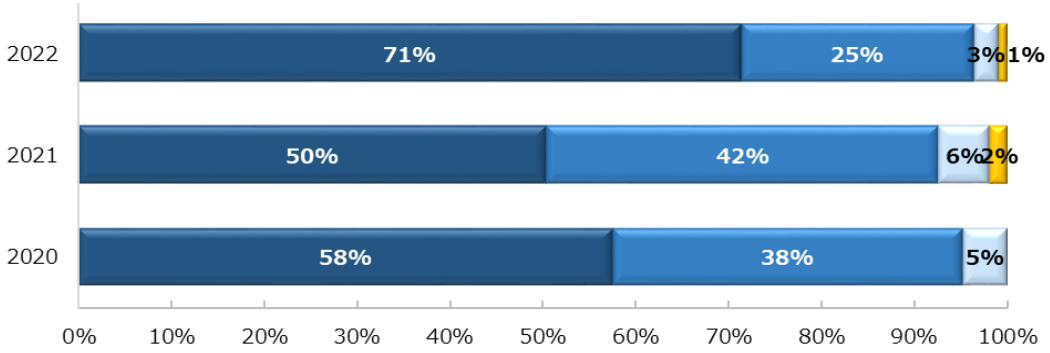
② 人間を生物学的に理解し、アセスメントに活かす基本能力



③ 人間を生活者として理解しアセスメントに活かす基本能力

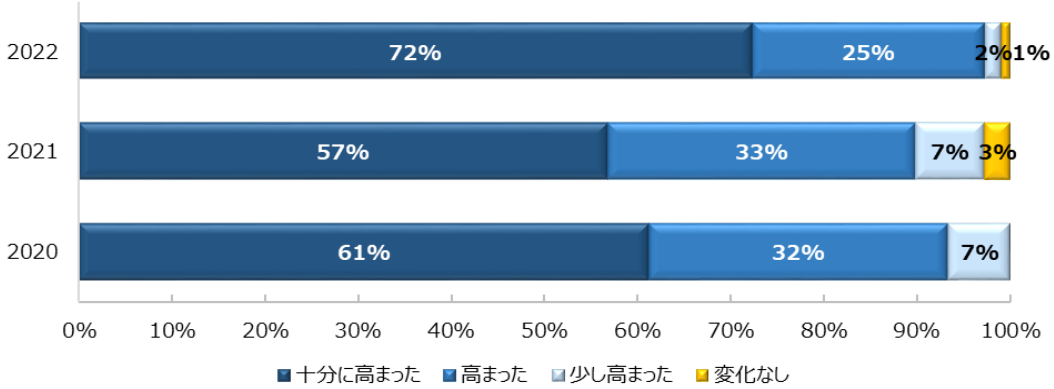


④ 人間を取り巻く環境について理解しアセスメントに活かす基本能力

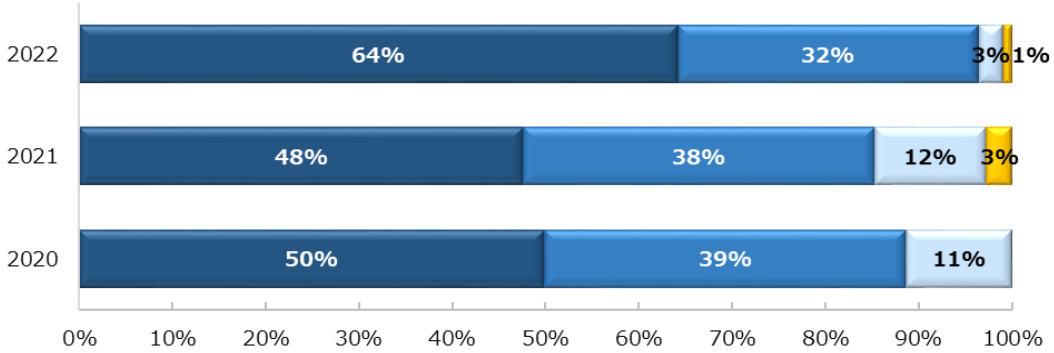


Ⅱ群　ヒューマンケアの基本に関する実践能力

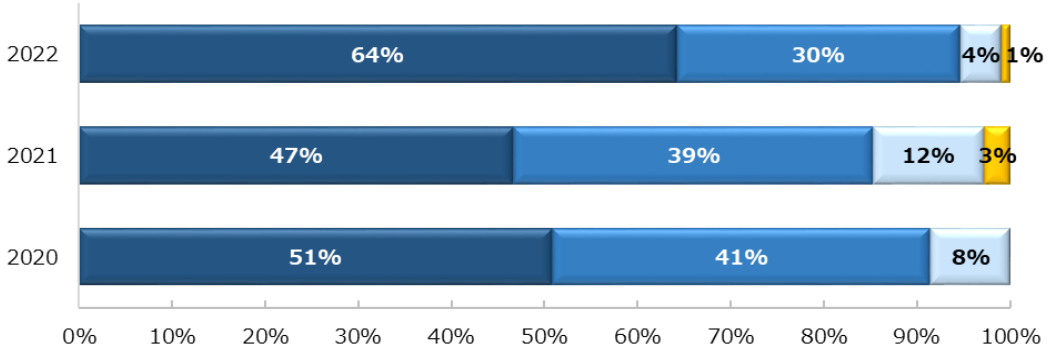
① 看護の対象となる人々の尊厳と権利を擁護する能力



② 実施する看護を説明し意思決定を支援する能力

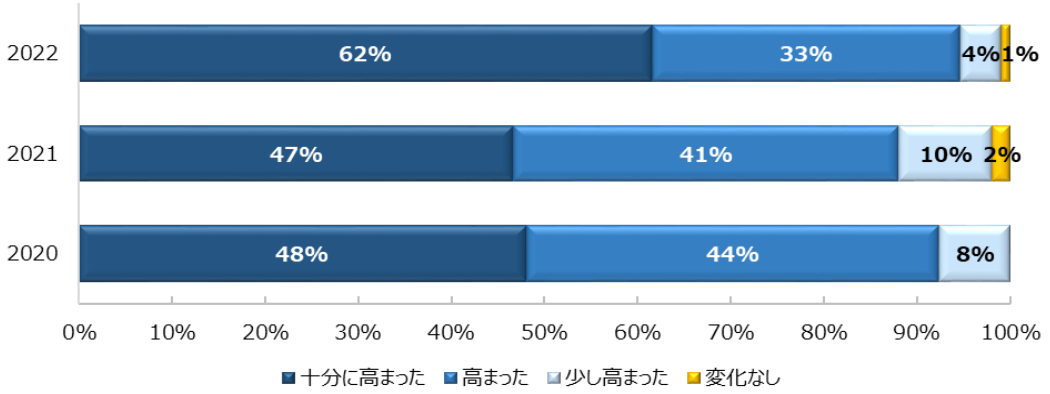


③ 援助的関係を形成する能力

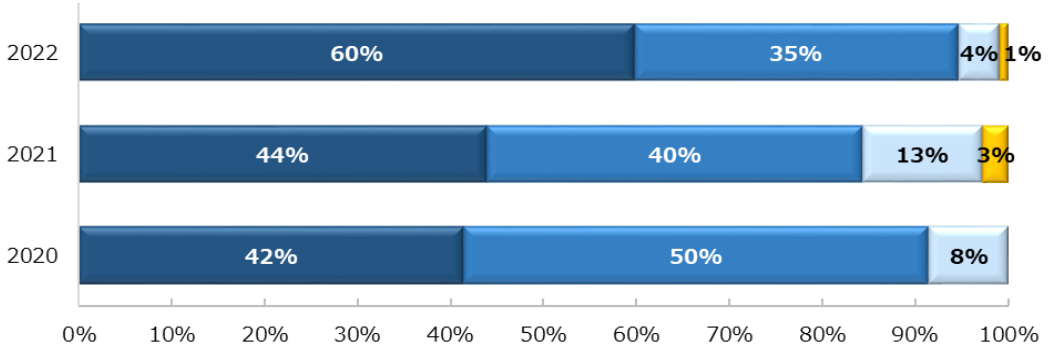


<u>Ⅲ群　根拠に基づき看護を計画的に実践する能力</u>

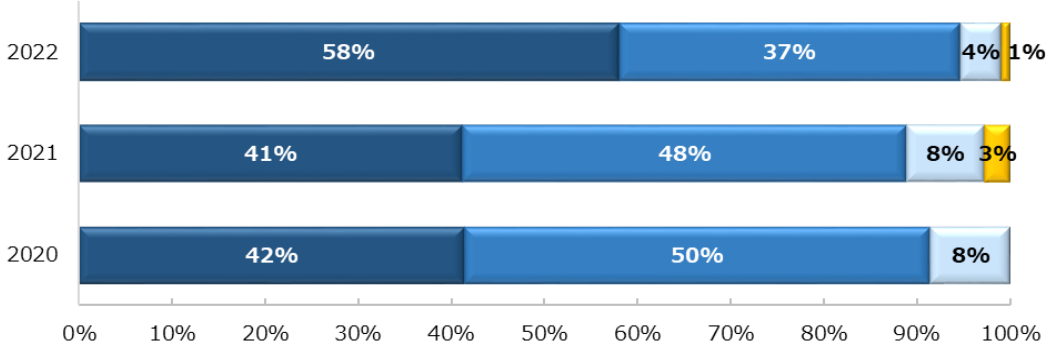
① 根拠に基づいた看護を提供する能力



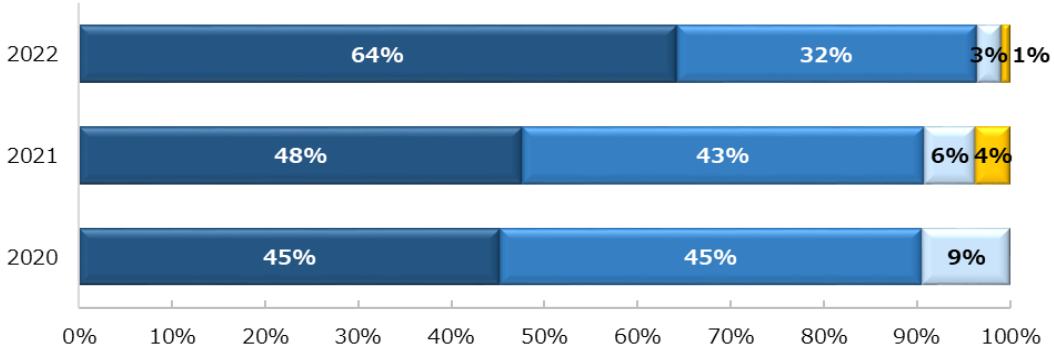
② 計画的に看護を実践する能力



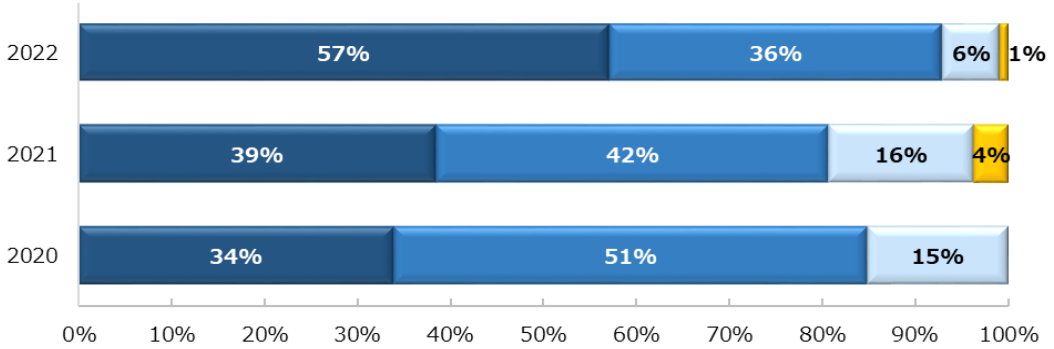
③ 健康レベルを成長発達に応じて査定(Assessment)する能力



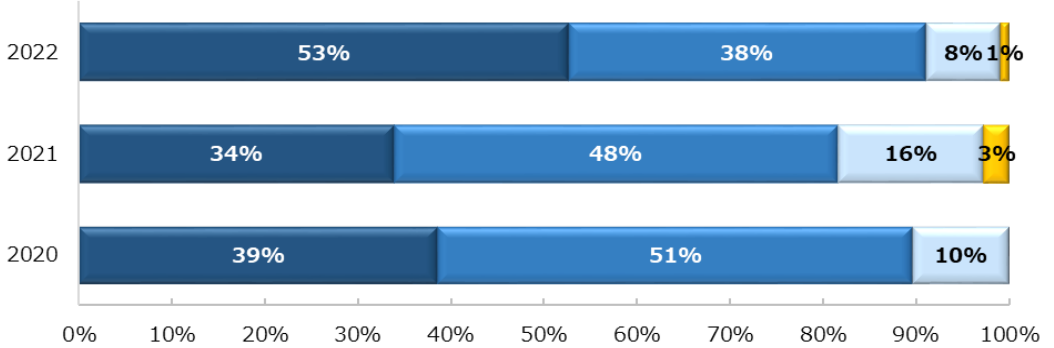
④ 個人と家族の生活を査定(Assessment)する能力



⑤ 地域の特性と健康課題を査定(Assessment)する能力

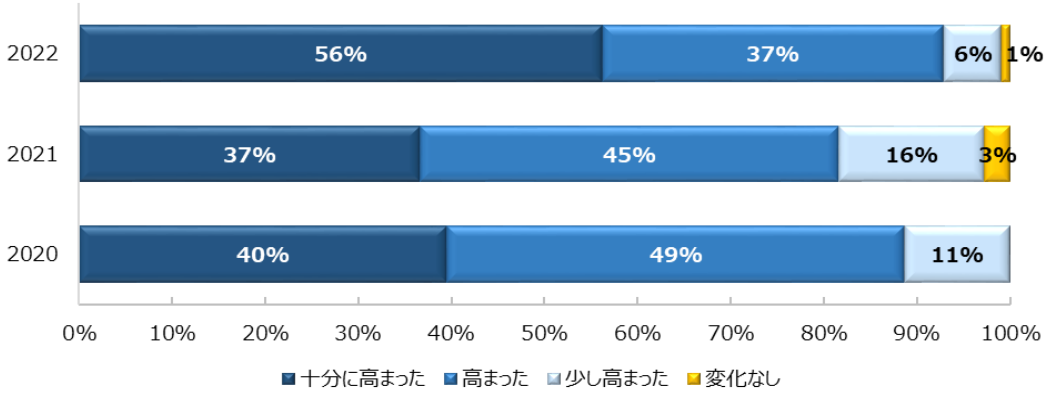


⑥ 看護援助技術を適切に実施する能力

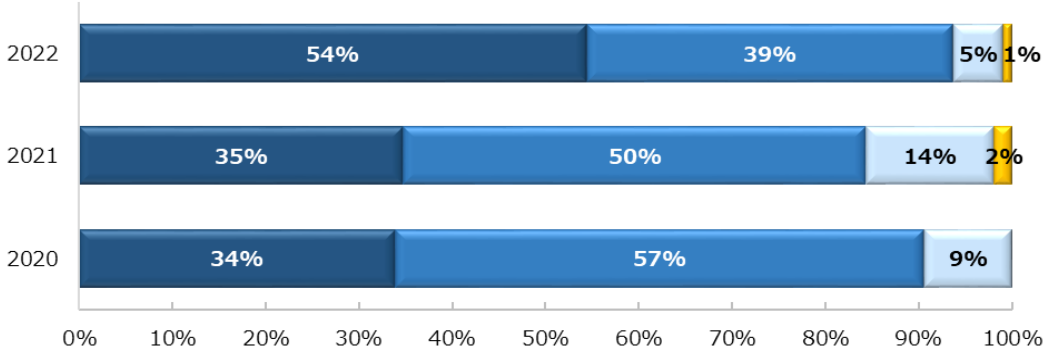


Ⅳ群　特定の健康課題に対応する実践能力

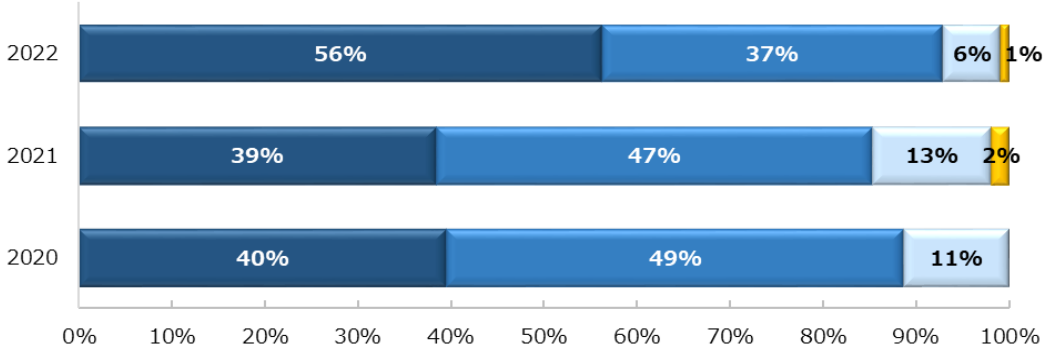
① 健康の保持増進と疾病を予防する能力



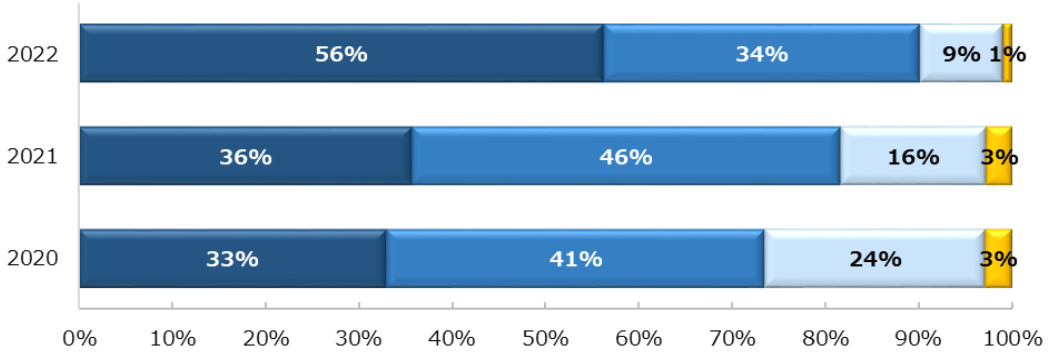
② 急激な健康破綻と回復過程にある人を援助する能力



③ 慢性・不可逆的健康課題を有する人を援助する能力

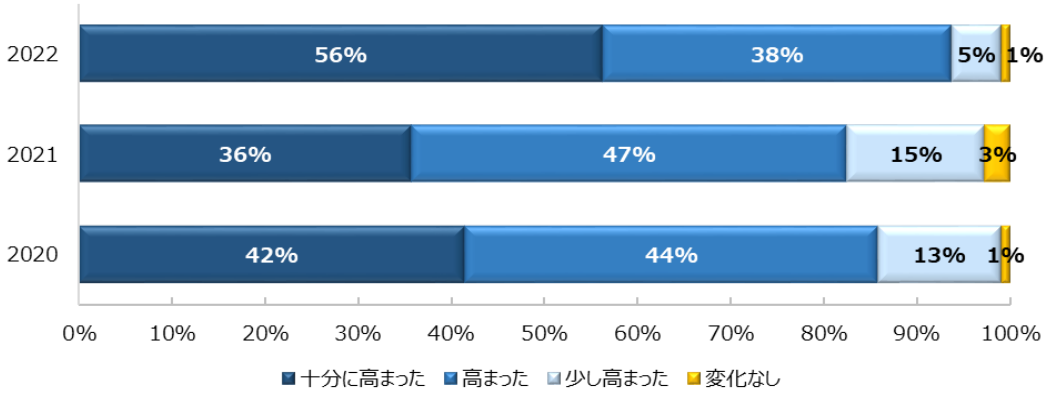


④ エンドオブライフにある人と家族を援助する能力

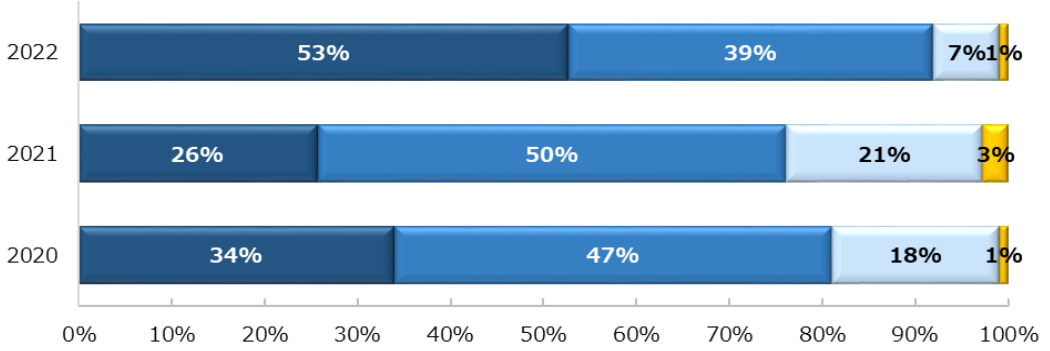


Ⅴ群　多様なケア環境とチーム体制に関する実践能力

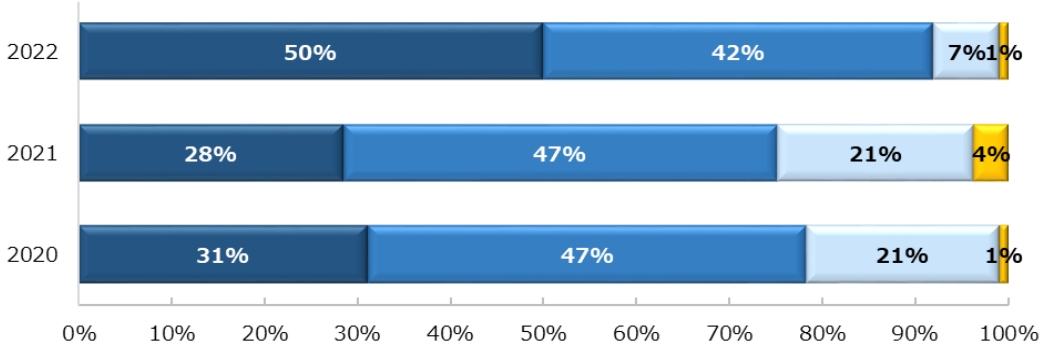
① 地域で生活しながら療養する人と家族を支援する能力



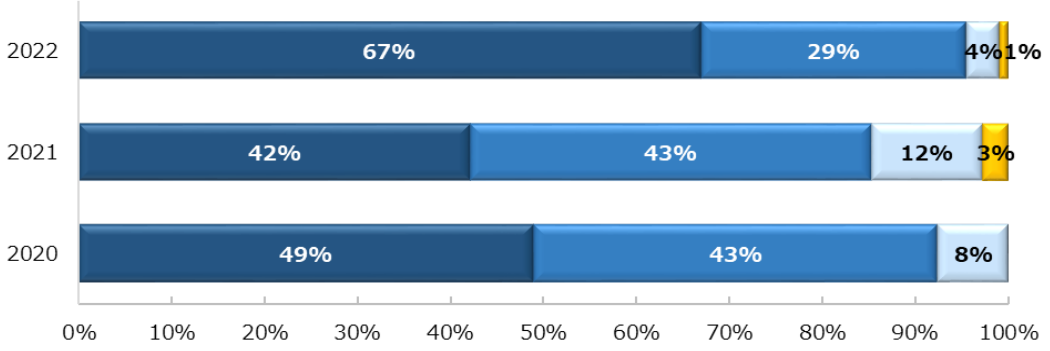
② 保健医療福祉における看護の質を改善する能力



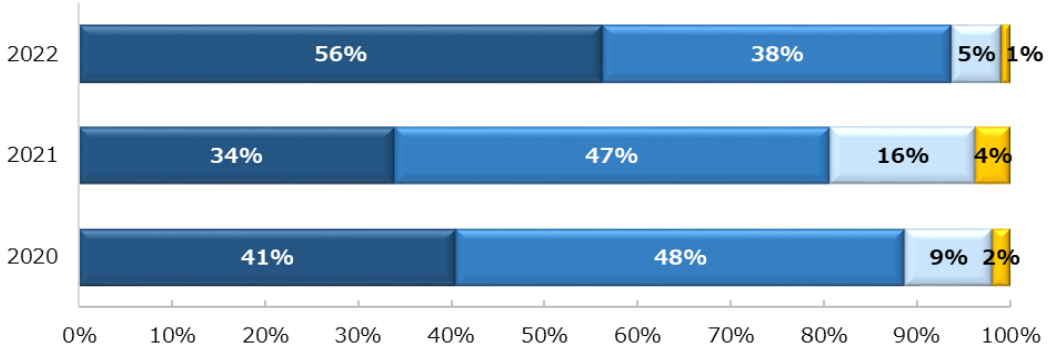
③ 地域ケア体制の構築と看護機能の充実を図る能力



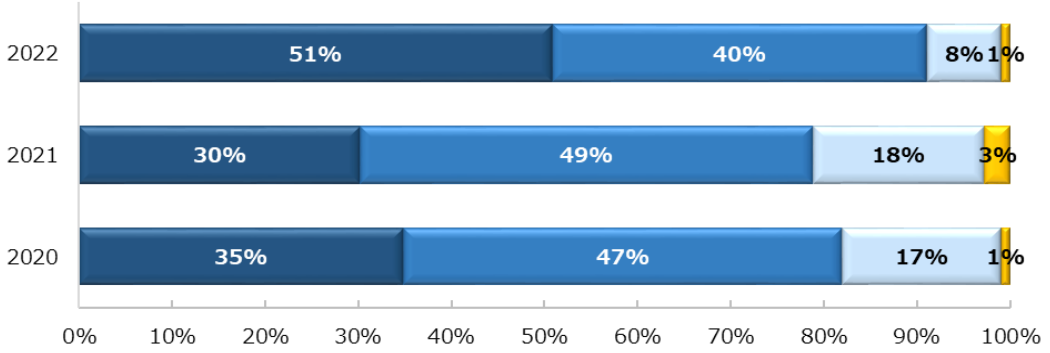
④ 安全なケア環境を提供する能力



⑤ 保健医療福祉チームの一員として協働し連携する能力

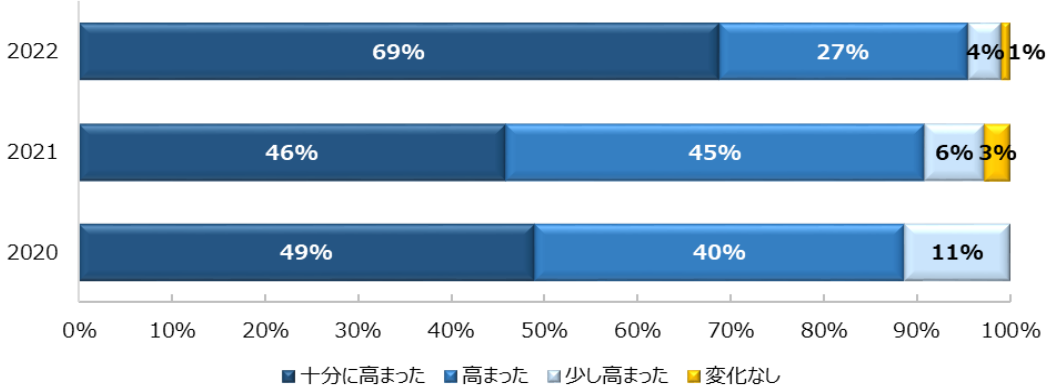


⑥ 社会の動向と科学技術の発展を踏まえて看護を創造するための基礎となる能力

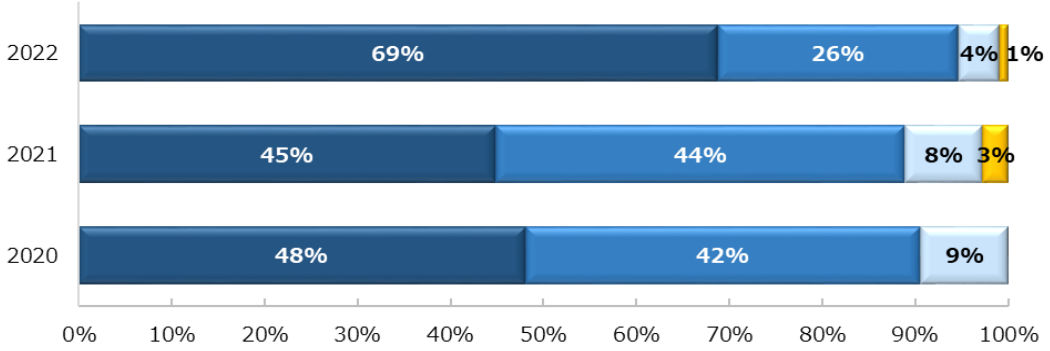


VI群　専門職者として研鑽し続ける基本能力

① 生涯にわたり継続して専門的能力を向上させる能力

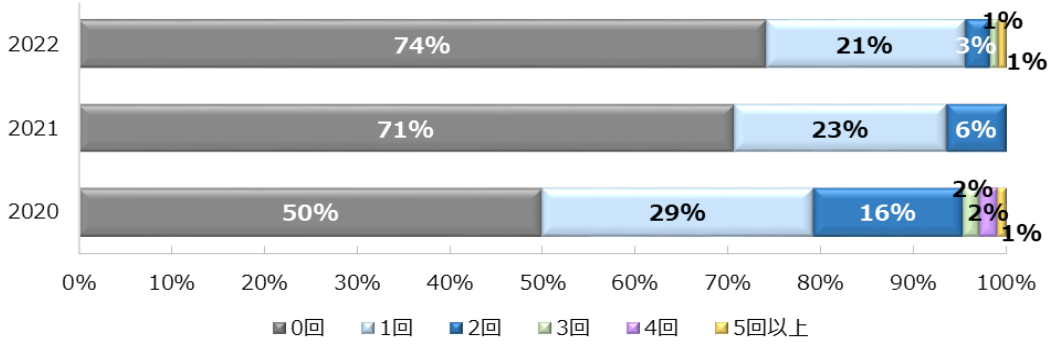


② 看護専門職としての価値と専門性を発展させる能力

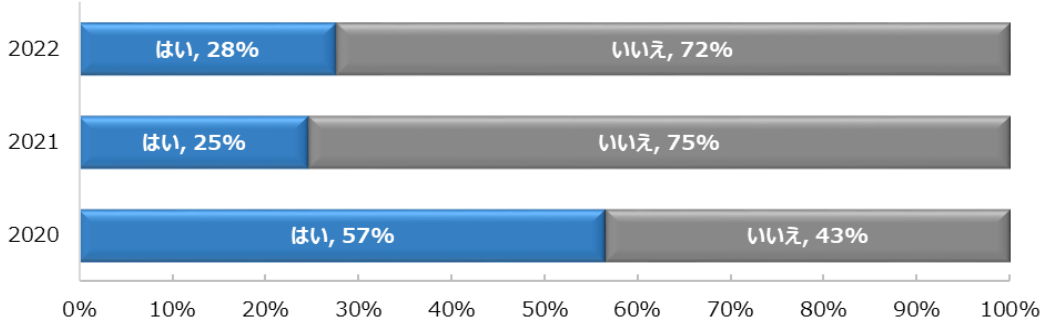


8. 卒業時の国際性に関する調査

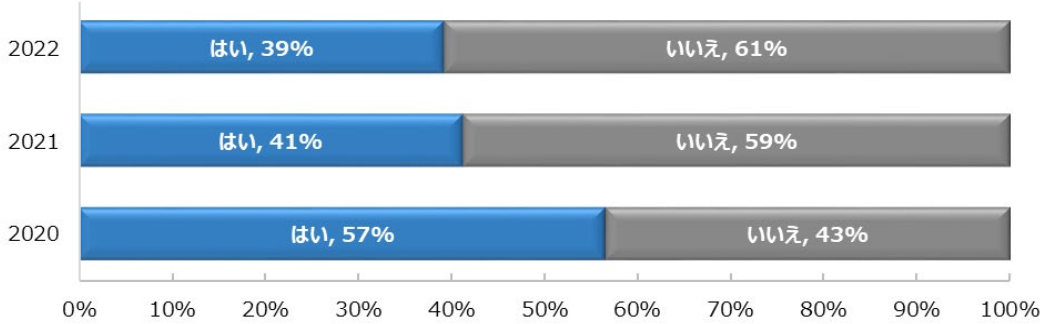
1)学内の留学プログラム(演習・実習含む)に参加した回数



2) 在学中に上記以外の渡航経験はありますか？



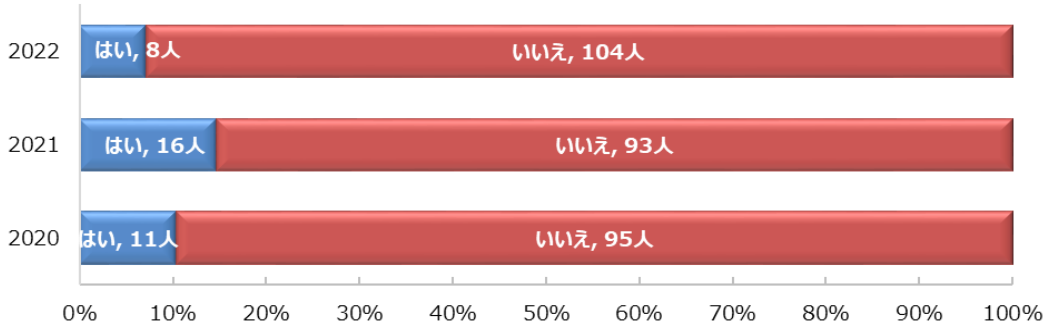
3) 在学中に語学力が向上したと思いますか？



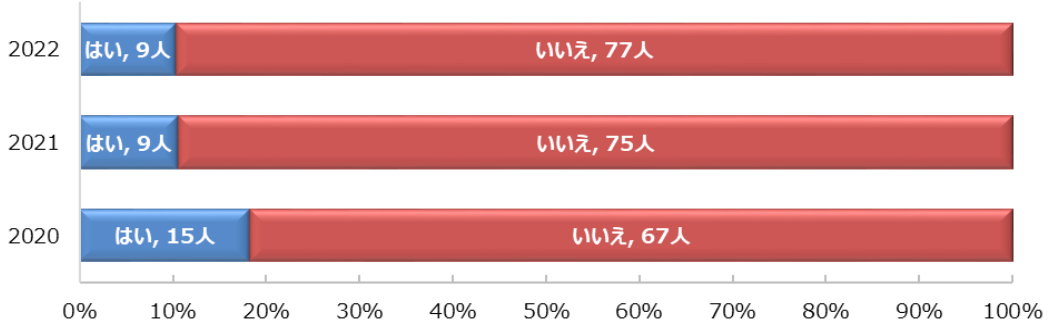
9. カリキュラム2015の新設科目に関する調査

＜臨床に強い看護職の育成＞

「卒業実習チームチャレンジ」を履修しましたか？



「サービスラーニング」を履修しましたか？



※学士編入生は履修対象外

「課題探究実習」を履修しましたか？

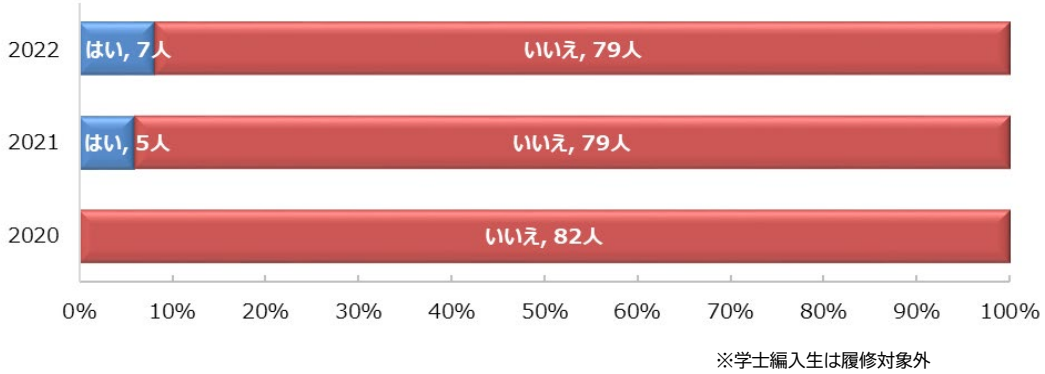
※学士編入生は履修対象外

＜国際的視野の習得＞

「スペイン語」を履修しましたか？

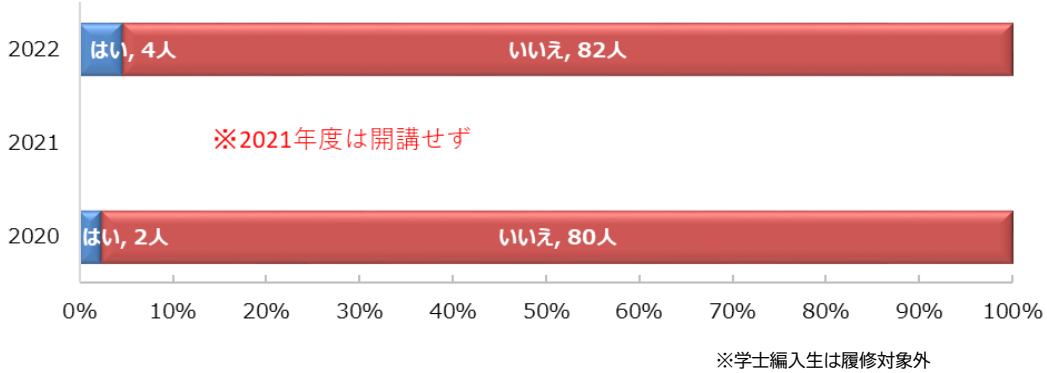
※学士編入生は履修対象外

「フランス語」を履修しましたか？



※学士編入生は履修対象外

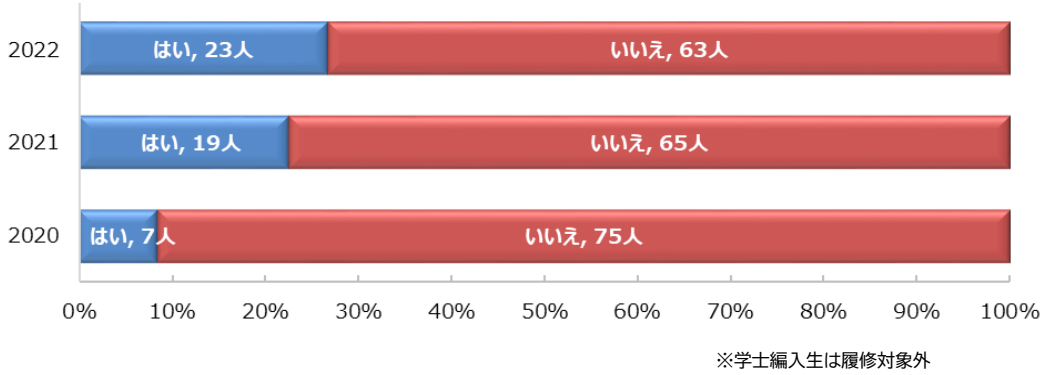
「総合実習（イリノイ大学シカゴ校看護学部派遣留学）」を履修しましたか？



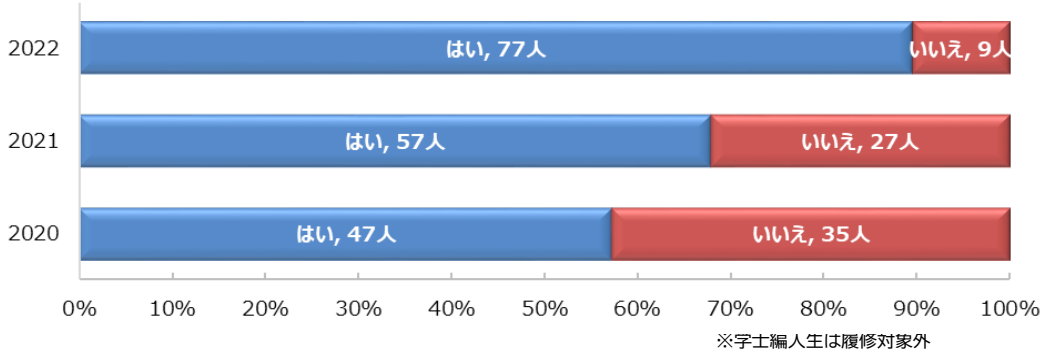
※学士編入生は履修対象外

＜教養科目の充実＞

「文化人類学」を履修しましたか？



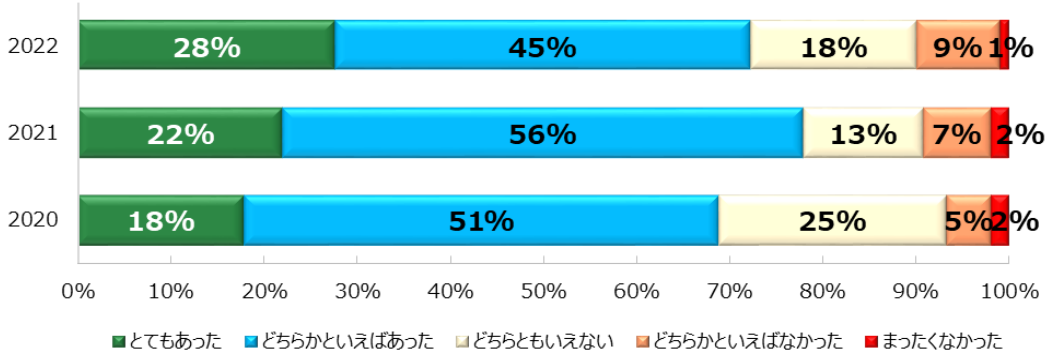
「総合科目」を履修しましたか？



10. インターネットを用いた遠隔学習に関する質問

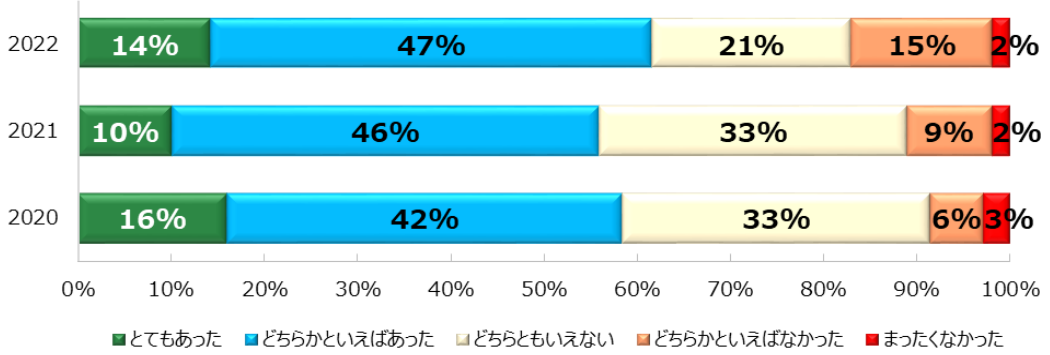
●講義について

インターネットを用いた遠隔授業は、あなたの学習に効果がありましたか？



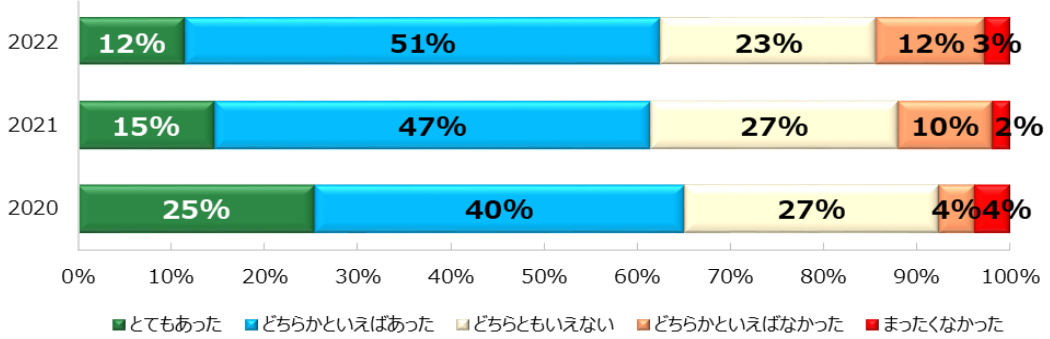
●演習（技術演習・事例検討など）について

インターネットを用いた遠隔授業は、あなたの学習に効果がありましたか？



●実習について

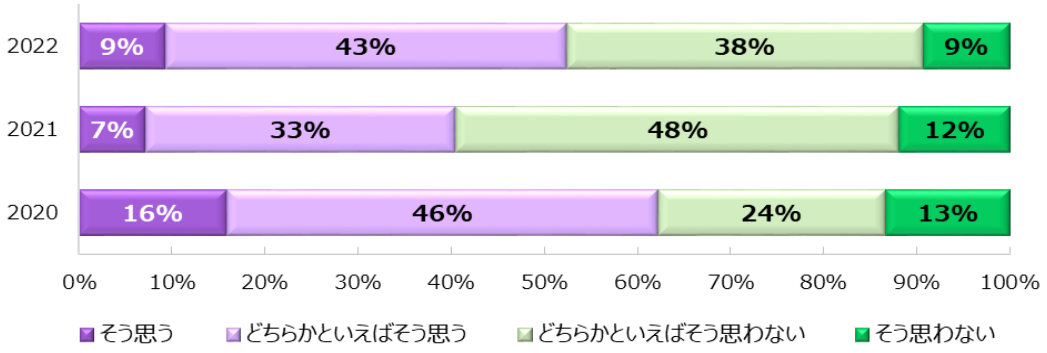
インターネットを用いた遠隔授業は、あなたの学習に効果がありましたか？



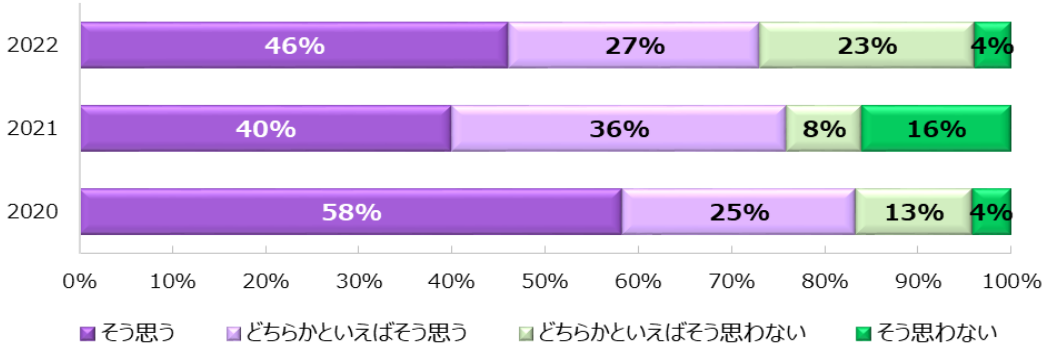
11. その他

1）カリキュラム（授業スケジュール）は、過密だと感じましたか？

■学部（一般）

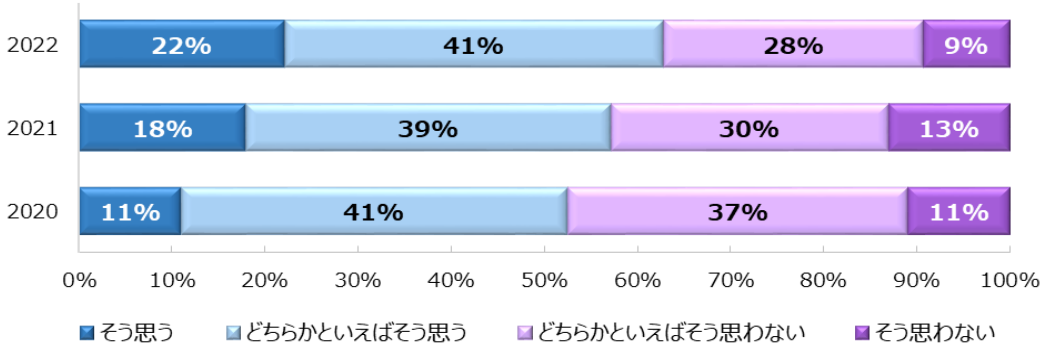
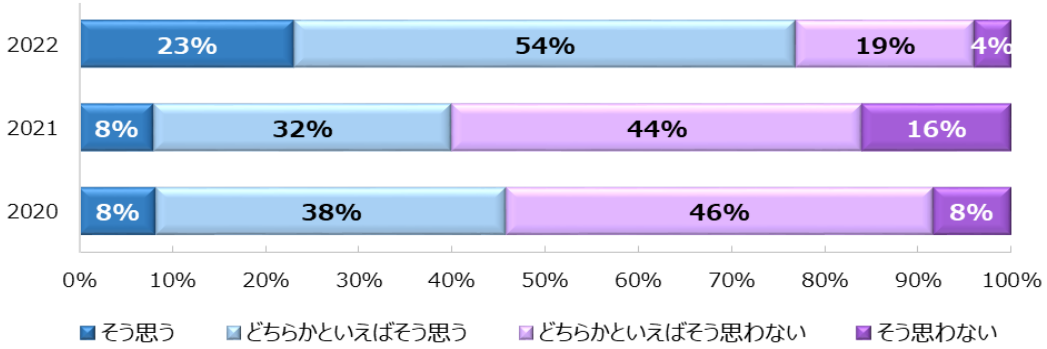


■学士編入



2）学部生と学士編入生との交流の機会は適切でしたか？

■学部（一般）



■学士編入